

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨	所管課	産業労働部 産業政策課
所在地	甲府市大津町2192-8	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年7月7日
管理方式	公益財団法人やまなし産業支援機構		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨設置及び管理条例		
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における地場産業の振興及び文化の向上を図るため、産業展示交流館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積 25,760.6㎡ (第2・3駐車場は含まない) ○建築延面積 9,945.9㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、地上4階建て ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・貸出用施設 <ul style="list-style-type: none"> 1階 屋内展示場 4,860㎡ 4階:会議室 212㎡ 屋外展示場 1,080㎡ 冷暖房設備付・エレベーター1基付 ・駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 第1駐車場(構内) 4,300㎡(250台収容) 第2駐車場(東側隣接地)12,383㎡(470台収容) 第3駐車場(NEC西側) 8,638.3㎡(430台収容) 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> (1)セレス甲府 (2)甲府市総合市民会館
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	利用率	39.9%	32.0%	40.3%	
	利用率合計	39.9%	32.0%	40.3%	
	目標値	37.0%	38.0%	38.0%	35.0%
	目標値設定の考え方 及びその理由	合計年間利用日数/年間営業日数で算定する。 利用日数は、全面利用の場合を1日とし、2/3面利用は、0.66日、1/3 面利用は、0.33日に換算する。			
	対28年度比		80.2%	101.1%	
利用率		39.9%	32.0%	40.3%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	施設利用料	98,482,737	120,800,000	128,758,067	113,118,000
	指定管理者委託料				
	その他	11,986,075	15,200,000	13,354,843	1,435,000
	収入合計(A)	110,468,812	136,000,000	142,112,910	114,553,000
支出	人件費	26,249,645	26,200,000	26,262,726	24,352,000
	県への納付金	12,794,400	12,794,000	12,794,400	12,600,000
	管理運営費	82,027,790	96,206,000	87,120,214	81,898,000
	うち外部委託費(B)	21,811,936	23,200,000	21,936,065	21,155,000
	支出合計(C)	121,071,835	135,200,000	126,177,340	118,850,000
収支差額(A-C)		△ 10,603,023	800,000	15,935,570	△ 4,297,000
外部委託比率(B÷C)		18.0%	17.2%	17.4%	17.8%
利用者一人当たりの経費					

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成30年4月～平成31年3月 実施方法:利用者(イベント主催者)へのアンケート 回答数:86人(回収率100%)
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設や設備の状況	76.7%	22.1%	1.2%	
②施設のサービス提供	75.6%	24.4%		
③職員・スタッフの対応	86.0%	14.0%		
④施設全体の満足度	76.7%	23.3%		
⑤再度利用希望	69.8%	29.0%	1.2%	
施設全般の満足度	77.0%	22.6%	0.4%	

利用者の意見	いすの個数が足りなかった。
利用者の意見への対応	他のホール利用者が400脚いすの使用を先に予約していたこともあり、アイメッセ山梨が所有するいすの数(1,268脚)が利用者が希望している1,500脚に満たなかったため、不足分をレンタル業者から借りる手配を行い、最終的には希望数を確保している。 引き続き、利用者への備品の貸出について、丁寧に説明をしていく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>業務計画どおり適正に維持管理業務を行った。修繕箇所は迅速に対応した。</p> <p>ただし、経年劣化に伴い、イベント開催や安全面で支障をきたす恐れのある箇所も生じている。修繕については、早急な対応が不可欠な箇所から、県と協議しながら進めていく。</p>	<p>施設の維持管理については、業務計画書に基づき概ね適正に実施されている。</p> <p>施設の経年劣化に伴い、不具合が生じている箇所もあるが、法定点検や日常点検を実施し適正に執行されている。</p> <p>引き続き、利用環境の維持や利用者の安全を確保し、快適な施設管理に努めること。</p>
運営業務	<p>業務計画どおりに適正に業務を実施した。自主企画事業として甲斐クラフトフェアの開催、初の試みとして人材確保セミナーの開催を行った。また、旅行代理業務による宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を一括で行うワンストップサービスについては、他施設との差別化のPRをより強化し、新規顧客の開拓並びに利用者の利便性向上を図った。</p>	<p>業務計画書に基づき、概ね適正に実施されている。</p> <p>利用者のニーズに応じて、設営、清掃、警備、宿泊施設の紹介等のワンストップサービスを強化し、利用者の利便性・満足度の向上に努め、新規顧客の開拓、リピーター確保に向けたより一層の努力を期待する。</p>
利用状況	<p>利用率については、全国大会開催、新規展示会・フェア並びにCM撮影の規模、利用日数の増加により、目標値38%に対し、40.3%と目標値を上回った。</p>	<p>全国大会の開催、新規展示会・フェア、CM撮影の規模拡大、利用日数の増加が利用率の上昇につながった。</p> <p>今後も積極的な情報収集や営業活動を行い、新規利用者及びリピーターの確保と更なる利用率の向上に努めること。</p>
収支状況	<p>ワンストップサービスによる手数料収入の確保、更には光熱水費などの効率的な運用、利用者の安全確保・利便性を考え、備品の購入や各種修繕を積極的に行った。前年と比べ収支差額は26,539千円の収入増となった。また日本最大の展示会である「イベント総合EXPO」への出展、県外への商談会参加など新規顧客開拓等を積極的に行った。</p>	<p>収入については、展示場利用率の増加が施設利用料の増加に繋がっている。</p> <p>支出については、光熱水費が増加しているため、経費節減に努めること。また、施設の老朽化に伴い、修繕費が増加しており、利用者の利便性や安全確保に努めている。引き続き、収入の増加や経費節減に取り組むこと。</p>
自主事業	<p>17年目を迎えた「甲斐クラフトフェア」は150ブースの出展者が集まり、2日間で11,280人の来場があった。</p> <p>また、自主企画事業として榎山梨中央銀行協力のもと、「人材確保セミナー」を実施し、112人の来場者があった。</p> <p>いずれも大盛況を収め、閑散期の利用率向上、収益向上に貢献した。</p>	<p>自主事業は施設の利用率を向上させると共に、施設の設置目的にも貢献するため、引き続き利用者満足度及び利用率向上に繋がるサービスを提供できるよう、適正な自主事業の運営に努めること。</p>
利用者満足度	<p>利用者へのアンケート結果は、「満足」との回答が9割以上を占めた。ワンストップサービスを強化するとともに、利用者のニーズに応じた提案を行い、利便性の良さを実感してもらった事が大きな要因になったものと考えている。</p>	<p>利用者の満足度は高く、利用者からの要望や意見に対し、可能な限り速やかに対応されていた。引き続き利用者のニーズに応じた提案を行うこと。</p>

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>利用件数は86件で目標値の88件を2件下回ったが、利用率については、1件当たりの規模や日数が多い全国大会の開催、新規展示会・フェア、CMの撮影等の利用により40.3%となり目標値の38%を上回った。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設の維持管理については、施設の老朽化が進んでいることから、必要な修繕を行うなど、引き続き適正な維持管理に努めてもらいたい。利用率については、目標値を上回る結果となった。今後も早い時期からの情報収集、新規利用者へ積極的なアプローチを行い、アイメッセ山梨の知名度がさらに上がることを期待する。また、設営、飲食、宿泊などの各種手配サービスの充実を強化し、利用者への利便性向上に努め、継続的な利用を働きかけるとともに、リピーターの確保に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の維持管理については、必要な修繕を行い、利用者からの要望・意見に速やかに対応し、引き続き利用環境の維持や安全確保に努めた。 また、施設の利用率の向上を図るためには、リピーターの確実な確保及び新たな利用者の獲得に努め、積極的に営業活動を行っていく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在

